

カリキュラムマップ

基礎科目(必修)

統計分野(基礎) 統計の基礎 分析ツールの使いかた等	統計分野 高度な統計分析手法に 関する授業	統計手法の スペシャリスト
情報分野(基礎) プログラム、ネットワーク OS関連の基礎等	情報分野 画像分析、AI、モバイル等の 高度な情報関連技術	IT関連の エキスパート
応用分野(基礎) プレゼンテーション等の コミュニケーションスキル 様々な分析事例の紹介	応用分野 経済学・経営学等の 基礎知識、各種応用分野の データを用いた演習	分析結果 豊富なデータ コンサルタント

データ演習

実データを使った実習など 企業との共同プロジェクト・卒業研究

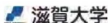
1年 2年 3年 4年

1学年100名の精鋭データサイエンティストを育成するカリキュラム。統計学と情報学・コンピュータ科学を土台に、実習でもあらゆる分野のデータを扱う。

データサイエンス
教育研究センター

データサイエンスを学ぶ
データサイエンスを冠する日本初の
専門学部が今春、滋賀大学に誕生

2017年4月、データから価値を創造する「データサイエンティスト」の育成を目的とした日本初の専門学部が滋賀大学においてスタートする。データサイエンティストに求められる基本スキルは、高度なデータ処理能力と分析力。入学後はまず統計学や情報学・コンピュータ科学を中心に学ぶ。理系に思われがちだが、行動履歴などのデータから引き出した知見を活用する先は、マーケティングやファイナンス、企業会計、医療環境、教育など社会的な領域になる。そのため、DS学部は本格的に文理融合の学問で、高校で文系クラスを選択した生徒でも入学は可能。企業や自治体との連携にも力を入れ、ケーススタディ、フィールドワークなど、ビジネス界のニーズを反映した実践教育を多く採用していることも特徴だ。



〒522-8522

滋賀県彦根市馬場1丁目1-1

「湖国から世界へ、知の21世紀を切り拓く」をスローガンに、幅広い教養と高度な専門知識やグローバルな視野を養成。2017年4月、日本で初めて統計学を教育・研究の核とする「DS学部」を本部・彦根に設置。



竹村 彰通 教授

DS学部長 / DS教育研究センター長

Message from Professor

この国の未来を切り拓く若きデータサイエンティストを養成します

DSの面白さのひとつはその幅広さにあります。対象とするデータを限定しないのであらゆる領域に応用ができるのです。現在は人の行動履歴が取れるようになったため、DSの活用先は飛躍的に増えました。データサイエンティストの最大の役割は、何よりも集めたデータから新たな価値を生み出すことです。例えば、大学の隣にある彦根城の観光客を増やしたい場合、高速道路の利用状況を調べ、そこから見える滞在時間をもとに「対策を盛り込んだ観光キャンペーンを打つ」といった結果を得るところまで考えます。

DSはポテンシャルを極めた学問です。滋賀大学が先陣を切って、データサイエンティストやその教員を増やし、日本のDS学をリードしていきたいと思っています。

